

研究課題名	発症・受傷後の早期に導入した ITB 療法 ―埋め込み時期の検討― (日本脳神経外科学会第 83 回学術総会発表に関して)
当センターの研究責任者	脳神経外科 森下暁二
研究目的	脳・脊髄障害の急性期では可及的早期の回復期病院への転院を目標とする。しかし過度の痙縮は、転院後の管理やリハビリ、退院後の日常生活の妨げとなる。われわれは積極的に発症早期から ITB 療法(バクロフェン髄注療法)を行っており、今回、埋め込みの時期について検討した。
利用する情報	<p>■対象 2022 年 5 月 1 日～2024 年 3 月 31 日にはりま姫路総合医療センターで ITB 治療を行った患者さん。 ITB 療法(バクロフェン髄注療法)は、脊髄へ直接、筋弛緩薬(バクロフェン)を作用させることによって、より高い効果の得られる治療方法。具体的には、バクロフェンを入れたポンプを手術によって腹部に埋め込み、ここから薬を流すカテーテルを脊髄まで通す。</p> <p>■利用情報の内容 電子カルテ及びレセプトに記載されている、画像など含めた診療情報</p> <p>■利用情報の該当期間 2022 年 5 月 1 日～2024 年 3 月 31 日</p>
研究期間	2024 年 10 月 18 日まで
利用情報の他機関への提供の有無 (有の場合はその名称)	無
個人情報の取り扱い	氏名や住所等の個人を特定できる内容は削除
企業等からの資金提供の有無 (有の場合はその名称)	無し
お問い合わせ先	兵庫県立はりま姫路総合医療センター 総務部 診療サポート課 電話番号：079-289-5080
備考	